学校番号	1008

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュβ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽通論　（教育芸術社）						
副教材等	コールユーブンゲン　等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、視唱、視奏、聴音、楽典を基礎から学習します。
視唱、視奏、聴音については実技実習を中心に、楽典については教科書を用いて学習します。
評価は視唱、聴音の実技試験及び、楽典の筆記テストを中心に、授業に取り組む姿勢等を加味します。

２　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。
音楽を形づくっている要素を正しく読み取って、歌ったり楽器で演奏したりすることができるよう
になる。
音楽を形づくっている要素を正しく聴き取り、それを記譜することができる。
音楽に関する基礎的な理論を理解するとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。	音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	音楽に関する基礎的な理論を理解するとともに、表現と鑑賞に活用することができる。
評価方法	観察	観察 実技試験	観察 実技試験	観察 実技試験 筆記試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	2年生の復習	これまでに学習した内容について復習し、内容の定着をはかる	○			○	a:楽典の学習内容に関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。 d:楽典の学習内容について理解している。	観察 小テスト 筆記試験
	音階	・音階 ・長音階と短音階 ・属音、下属音、導音 ・長音階の仕組みと調号 ・短音階の仕組みと調号 ・五度圏 ・調判定 ・移調 ・関係調 ・転調	○			○	a:「音階」の分野に関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。 d:「音階」の分野について理解している	観察 小テスト 筆記試験
	様々なリズムを含む単旋律聴音	調号のない、シンコペーション等、やや複雑なリズムを含む単旋律を聴き取り採譜する	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。 c:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	観察 実技試験

	6度～8度音程の視唱	コールユーブンゲン、6度～8度音程の視唱	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。 c:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	観察 実技試験
2学期	和音	・三和音 ・和音記号 ・三和音の種類 ・七の和音 ・和音の配置 ・和音の転回 ・終止形 ・コードネーム	○			○	a:「和音」の分野に関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。 d:「和音」について理解している。	小テスト 筆記試験
	単旋律聴音	調号が2つまでの8～12小節程度の単旋律を聴き取り採譜する	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。 c:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	観察 実技試験

	長い旋律の視唱奏	12 小節以上の新曲の視唱奏	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。 c:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	観察 実技試験
	2声の和声聴音	調号が2つまでの、2声の和声を聴き取り採譜する	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。 c:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	観察 実技試験
3学期	楽典の総復習	これまでに学習した内容について復習し、内容の定着をはかる	○			○	a:楽典の学習内容に関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。 d:楽典の学習内容について理解している。	観察 小テスト 筆記試験
	長い旋律の視唱奏	12 小節以上の新曲の視唱奏	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。 c:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	観察 実技試験

	4 声の和声聴音	調号が2つまでの密集4声体を聴き取り採譜する	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う諸活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽性豊かな表現をすることができる。 c:音楽を形づくっている要素を正しくとらえ音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を身につけている。	観察 実技試験

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。